

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 08215019
PUBLICATION DATE : 27-08-96

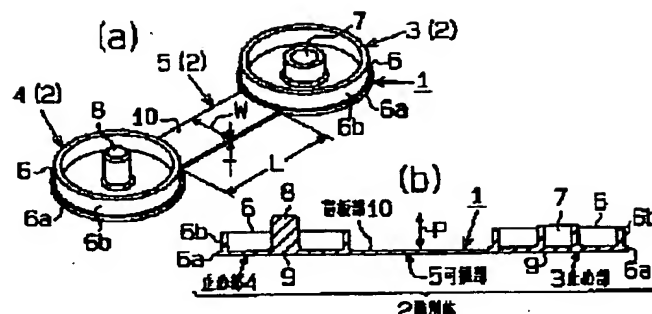
APPLICATION DATE : 14-02-95
APPLICATION NUMBER : 07025616

APPLICANT : MUTO KASEI KOGYOSHO:KK;

INVENTOR : MUTO KOHEI;

INT.CL. : A47G 25/28

TITLE : IDENTIFIER FOR HANGER



ABSTRACT : PURPOSE: To easily attach/detach an identifier to a hanger, to facilitate the change to the other identifier and to generally use various hangers by utilizing the identifiers for them by mutually connecting both the terminal parts of the folding identifier through a pair of stoppers and forming the identifier in the shape of a loop.

CONSTITUTION: When fitting an identifier 1 to the hanger, first of all, a flexible part 5 of the identifier 1 is abutted to the outer periphery of the base end part of a hook near the arm of the hanger, a band plate part 10 of the flexible part 5 is bent in thickness-wise direction T and the hook is held. Next, both stopper parts 3 and 4 of the identifier 1 are faced to each other on the inside, a stop recessed part 8 at one stopper part 4 is fitted to a stop recessed part 7 at the other stopper part 3, and both the stopper parts 3 and 4 are overlapped inside an outer wall part 6b. Therefore, the identifier 1 is connected at both the stopper parts 3 and 4 and folded in the shape of loop and the state of inserting the base end part of the hook through a stop hole in the identifier 1 is provided. On the other hand, by pulling a stop projecting part 8 out of the stop recessed part 7, the identifier 1 is easily detached from the hook.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-215019

(43) 公開日 平成8年(1996)8月27日

(51) Int.Cl.⁶

A 4 7 G 25/28

識別記号

庁内整理番号

7361-3K

F I

A 4 7 G 25/28

技術表示箇所

D

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全4頁)

(21) 出願番号

特願平7-25616

(22) 出願日

平成7年(1995)2月14日

(71) 出願人 592180993

株式会社武藤化成工業所

岐阜県武儀郡武芸川町跡部972番地

(72) 発明者 武藤 幸平

岐阜県武儀郡武芸川町跡部972番地 株式

会社武藤化成工業所内

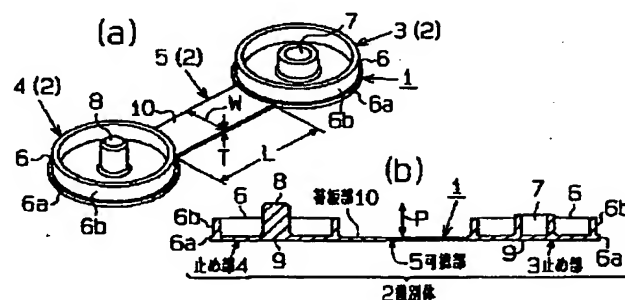
(74) 代理人 弁理士 恩田 博宣

(54) 【発明の名称】 ハンガー用識別具

(57) 【要約】

【構成】 識別体2において可撓部5が両止め部3, 4間で折り曲げ可能に設けられ、識別体2を環状に折り曲げて両止め部3, 4で連結可能にしている。可撓部5は、両止め部3, 4間の延設方向に対し直交する方向の断面を略矩形にした帯板部10を有し、その断面において可撓方向Pに直交する方向の幅Wを可撓方向Pの厚みTよりも大きくしている。フックは環状識別具1内の止め孔に挿通される。フックの長手方向に沿う帯板部10の幅Wの方向へ可撓部5が撓みにくくなり、帯板部10の内縁がフックの外周面に当たって識別具1がフックの長手方向へ回りにくくなる。

【効果】 ハンガーに識別具1を容易に着脱でき、別の識別具への交換が容易になるとともに、いろいろなハンガーに識別具1を利用でき、汎用性が向上する。可撓部5により識別体2を環状に折り曲げ易くなる。識別具1がハンガーに安定して取り付けられる。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 合成樹脂により成形され、ハンガー（11）に取り付けられるハンガー用識別具において、
両端を有する折り曲げ可能な識別体（2）と、その両端側を互いに連結してこの識別体（2）を環状に形成する止め手段（3、4）とを備えたことを特徴とするハンガー用識別具。

【請求項2】 合成樹脂により成形され、ハンガー（11）に取り付けられるハンガー用識別具において、
識別体（2）の両端側に止め部（3、4）を設けるとともに、この両止め部（3、4）間で識別体（2）には折り曲げ可能な可撓部（5）を設け、この識別体（2）を環状に折り曲げてこの両止め部（3、4）で連結可能にしたことを特徴とするハンガー用識別具。

【請求項3】 請求項2に記載の可撓部（5）は、両止め部（3、4）間の延設方向に対し直交する方向の断面を略矩形にした帯板部（10）を有し、その断面において可撓方向（P）に直交する方向の幅（W）を可撓方向（P）の厚み（T）よりも大きくしたことを特徴とするハンガー用識別具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、衣服等の各種製品を保持するハンガーに係り、その製品の種別（例えばサイズや不良品区別や出荷先）を色や符号やラベルなどにより識別するためにハンガーに取り付けられる識別具に関するものである。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】 図6に示す従来のハンガー用識別具1においては、一対の係止鉤部14が突設されて蟻溝状に形成され、ハンガー11のフック13に引き掛けられている。しかし、この蟻溝状識別具1がフック13から不用意に離れないようにフック13に合致されているため、この蟻溝状識別具1を一旦フック13に引き掛けると、フック13から取り外すことが困難になり、別の識別具に交換することが大変面倒であった。また、この蟻溝状識別具1はその形状に合うフック13にしか利用することができず、汎用性に乏しかった。

【0003】 一方、図示しないが、他の識別具としては、パイプを輪切りにしたものもある。このパイプ状識別具はフック13にその先端部から挿入されるため、フック13の先端部からの挿脱を行い易くなり、別の識別具への交換や汎用性の点では前記蟻溝状識別具1よりも優れている。しかし、この蟻溝状識別具1はパイプ状識別具と比較してフック13への取付け操作を容易に行うことができる点で優れている。

【0004】 本発明は前記蟻溝状識別具の利点を採用しつつもその欠点を解消した新規な識別具を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】 後記実施例の図面（図1～5）の符号を援用して本発明を説明する。第一発明にかかるハンガー用識別具（1）は下記のように構成されている。

【0006】 ハンガー用識別具（1）は合成樹脂により成形され、ハンガー（11）に取り付けられる。このハンガー用識別具（1）1においては、両端を有する折り曲げ可能な識別体（2）と、その両端側を互いに連結してこの識別体（2）を環状に形成する止め手段（3、4）とを備えている。

【0007】 第二発明にかかるハンガー用識別具（1）は下記のように構成されている。ハンガー用識別具（1）は合成樹脂により成形され、ハンガー（11）に取り付けられる。このハンガー用識別具（1）においては、識別体（2）の両端側に止め部（3、4）が設けられているとともに、この両止め部（3、4）間で識別体（2）には折り曲げ可能な可撓部（5）が設けられ、この識別体（2）を環状に折り曲げてこの両止め部（3、4）で連結可能にしている。

【0008】 第三発明にかかるハンガー用識別具（1）は第二発明に下記の構成を加えている。可撓部（5）は、両止め部（3、4）間の延設方向に対し直交する方向の断面を略矩形にした帯板部（10）を有し、その断面において可撓方向（P）に直交する方向の幅（W）を可撓方向（P）の厚み（T）よりも大きくしている。

【0009】

【作用】 第一発明にかかるハンガー用識別具（1）においては、例えばハンガー（11）のフック（13）に識別体（2）を当てがって環状に折り曲げ、この識別体（2）の両端側を止め手段（3、4）により連結すると、フック（13）がこの環状識別具（1）内の止め孔（S）に挿通された状態となる。

【0010】 第二発明にかかるハンガー用識別具（1）においては、例えばハンガー（11）のフック（13）に識別体（2）の可撓部（5）を当てがって環状に折り曲げ、この識別体（2）の両止め部（3、4）を連結すると、フック（13）がこの環状識別具（1）内の止め孔（S）に挿通された状態となる。

【0011】 第三発明においては、第二発明の作用に加え、識別具（1）を環状にしてフック（13）に取り付けたとき、フック（13）の長手方向（軸線方向）に沿う帯板部（10）の幅（W）の方向へ可撓部（5）が撓みにくくなり、帯板部（10）の内縁がフック（13）の外周面に当たって識別具（1）がフック（13）の長手方向へ回りにくくなる。

【0012】

【実施例】 以下、本発明の第一実施例にかかるハンガー用識別具を図1～3を参照して説明する。

【0013】 図1に示すように、この識別具1は合成樹

3

脂により一体成形され、その識別体2の両端側に止め部3、4が設けられているとともに、この両止め部3、4間でこの識別体2には折り曲げ可能な可撓部5が設けられている。

【0014】この止め部3、4において有底円形体6は底壁部6aとその外周の外壁部6bとからなる。一方の止め部3において、この外壁部6bで囲まれる底壁部6aの内側中心部に円筒状の止め凹部7が形成されている。他方の止め部4において、同じく内側中心部に円柱状の止め凸部8が形成されている。この止め凹部7の内径と止め凸部8の外径とはほぼ一致し、この止め凹部7に止め凸部8を容易に嵌着できるとともに、この止め凹部7から止め凸部8が不用意に抜け落ちないように、これらの間には嵌着時に適度な圧接力が働く。この止め部3、4において底壁部6aの外側に平面状の識別表示部9が形成されている。この識別表示部9には各種ラベルを貼ることができる。

【0015】前記可撓部5は、両止め部3、4の底壁部6a間に接続され、両止め部3、4間の延設方向に対し直交する方向の断面を矩形にした薄い帯板部10（延設方向長さL）を有している。この帯板部10の断面において可撓方向Pに直交する方向の幅Wが可撓方向Pの厚みTよりもかなり大きくなっている。そのため、この帯板部10はこの厚みTの方向（可撓方向P）へ撓み易くなり、幅Wの方向へほとんど撓まない。

【0016】このように構成された識別具1は次のようにしてハンガー11に取り付けられる。ハンガー11においては、アーム12上の中央部にフック13が上方へ延設されている。このアーム12に近いフック13の基端部外周面に前記識別具1の可撓部5を当てがい、この可撓部5の帯板部10をその厚みTの方向（可撓方向P）へ折り曲げてフック13の基端部をこの折曲帯板部10間に挟む。そして、前記識別具1の両止め部3、4をその内側で相対向させ、一方の止め部3の止め凹部7に他方の止め部4の止め凸部8を嵌着し、両止め部3、4をその外壁部6bの内側で互いに重合させる。従って、図2、3に示すように、識別具1は両止め部3、4で連結されて環状に折り曲げられ、フック13の基端部がこの環状識別具1内の止め孔Sに挿通された状態となる。

【0017】一方、前記止め凸部8を止め凹部7から抜くだけで、この識別具1をフック13から離脱させることができる。本実施例は下記の（イ）～（ロ）の特徴を有する。

【0018】（イ） 前述したようにして、識別具1はフック13に取り付けられるので、その取付け操作が行い易くなる。また、この識別具1をフック13から容易に離脱させることができる。そのため、別の識別具への交換を容易に行うことができる。さらに、環状識別具1内の止め孔Sにフック13を挿通できさえすれば、識別

4

具1をフック13に取り付けることができるので、フック13の断面形状に左右されず、いろいろなフック13を有するハンガー11にこの識別具1を利用でき、汎用性が向上する。

【0019】（ロ） 識別具1の可撓部5は前述したような断面矩形の帯板部10になっているので、識別具1を環状にしてフック13に取り付けたとき、フック13の長手方向（軸線方向）に沿う帯板部10の幅Wの方向へ可撓部5が撓みにくい。そのため、識別具1内の止め孔Sとフック13との間に例えある程度の空間があつたとしても、帯板部10の内縁がフック13の外周面に当たって識別具1がフック13の長手方向へ回りにくくなる。また、識別具1内の止め孔Sとフック13との間にあまり隙間がない場合には、帯板部10の内周面とフック13の外周面とが互いに当たってより一層回りにくい。さらに、識別具1がその止め孔Sでフック13に締め付けられれば、識別具1はフック13の軸線回りでも回動しにくい。従って、識別具1はフック13に対し安定し、識別機能を十分に発揮することができる。

【0020】前記実施例以外にも下記（イ）～（ハ）のように構成してもよい。

（イ） 図4に示す第二実施例の識別具1においては、両止め部3、4とそれらの間の可撓部5とからなる識別体2の全体が薄い合成樹脂製可撓帯板部10からなり、この可撓帯板部10の一端側に止め凹部7が突設されているとともに、その他端側に止め凸部8が突設されている。そして、図5に示すように、この止め凹部7に止め凸部8が嵌着されて識別体2が環状に形成され、この環状識別体2内の止め孔Sにフック13が挿通される。その他の点は前記第一実施例と同様である。

【0021】（ロ） 前述した実施例では両止め部3、4間で識別体2に折り曲げ可能な可撓部5を設けている。このような可撓性を持たせる必要はなく、識別体2に複数の折り目を形成してこの識別体2を折り曲げる手段とする。

【0022】（ハ） ハンガー11においてそのフック13以外の部分に識別具1を取り付ける。各実施例から把握できる技術的思想（請求項以外）を効果とともに記載する。

【0023】（イ） 請求項2に記載の両止め部3、4のうち、一方の止め部3は止め凹部7を有し、他方の止め部4はこの止め凹部7に嵌着される止め凸部8を有している。従って、両止め部3、4の連結が行い易くなる。

【0024】（ロ） 請求項2に記載の両止め部3、4に識別表示部9を設けた。従って、この識別表示部9にラベルを貼って識別機能を高めることができる。

【0025】

【発明の効果】第一発明にかかるハンガー識別具（1）によれば、ハンガー（11）に対し識別具（1）を容易

5

に着脱でき、別の識別具への交換を容易に行うことができるとともに、いろいろなハンガー（11）にこの識別具（1）を利用でき、汎用性を向上させることができる。

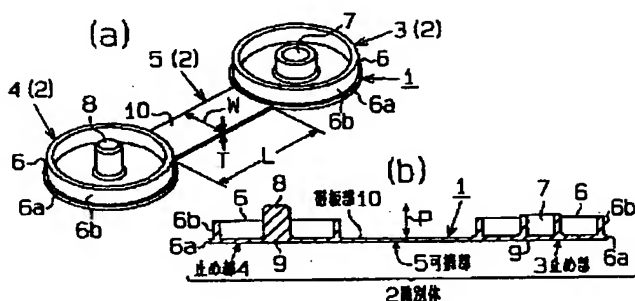
【0026】第二発明にかかるハンガー識別具（1）によれば、第一発明の効果に加え、可撓部（5）により識別体（2）を環状に折り曲げ易くなる。第三発明によれば、第二発明の効果に加え、識別具（1）をハンガー（11）に安定して取り付けることができる。

【図面の簡単な説明】

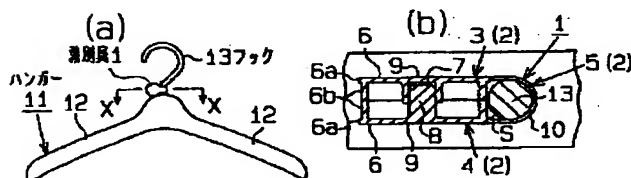
【図1】（a）は第一実施例にかかるハンガー用識別具の不使用状態を示す斜視図であり、（b）は（a）の断面図である。

【図2】（a）は図1（a）のハンガー用識別具を環状にした状態を示す斜視図であり、（b）は（a）の断面図である。

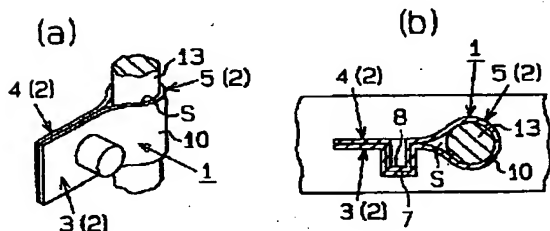
【図1】



【図3】



【図5】



6

【図3】（a）は第一実施例にかかるハンガー用識別具の使用状態を示す正面図であり、（b）は（a）のX-X線拡大断面図である。

【図4】（a）は第二実施例にかかるハンガー用識別具の不使用状態を示す斜視図であり、（b）は（a）の断面図である。

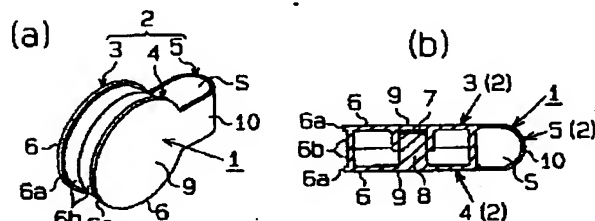
【図5】（a）は第二実施例にかかるハンガー用識別具の使用状態を示す部分斜視図であり、（b）は（a）の断面図である。

10 【図6】（a）は従来のハンガー用識別具の使用状態を示す正面図であり、（b）は（a）のY-Y線拡大断面図である。

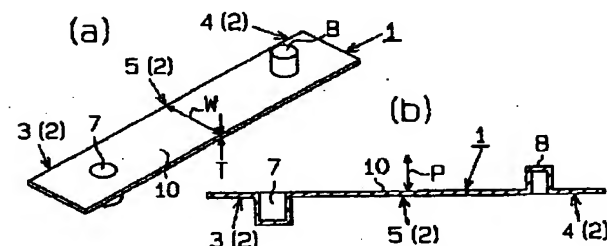
【符号の説明】

1…ハンガー用識別具、2…識別体、3…止め部、4…止め部、5…可撓部、10…帯板部、11…ハンガー、13…フック、P…可撓方向、W…幅、T…厚み。

【図2】



【図4】



【図6】

